

ISO/TC 68 が担当している国際標準規格等について

● SC 2 (金融サービス向けセキュリティ)

[SC 2](#) は、金融サービスに関連するセキュリティについての国際標準化を担当する分科委員会である。事務局は英国規格協会 (BSI : British Standards Institution) が務めている。

[発行済み規格等](#)

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 | |
|-----------|---------------------------|---|------|---|
| ISO 9564 | 暗証番号 (PIN) のマネジメントとセキュリティ | 金融機関の取引カード (キャッシュカード、クレジットカード、デビットカード) 等とともに利用される暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) について、その設定、保管、入力、送信等に関する一般的な規則を定めた規格。 | | |
| | Part 1 | | | パート 1 : カード取引における PIN の基本原則および要件 |
| | Part 2 | | | パート 2 : PIN の暗号アルゴリズム |
| | Part 4 | | | パート 4 : 電子商取引の決済において PIN を扱うときの要件 |
| ISO 11568 | 金融のリテール向けサービスの鍵管理 | リテール金融分野、特に現金自動支払機/現金自動預払機 (CD/ATM : Cash Dispenser/Automated Teller Machine) や販売時情報管理 (POS : Point of Sales) のシステムで PIN を暗号化する際に、CD/ATM とセンターが暗号鍵を安全に共有するための鍵管理方式を定めた規格。 | | |
| | Part 1 | | | パート 1 : 原則 |
| | Part 2 | | | パート 2 : 共通鍵暗号とその鍵管理およびライフサイクル |
| | Part 4 | | | パート 4 : 鍵管理とライフサイクル |
| ISO 13491 | リテール金融で用いるセキュアな暗号装置 | リテール金融取引において利用される物理的かつ機能的にセキュアな暗号装置 (SCD : Secure Cryptographic Devices) に要求される機能に関する規格。 | | |
| | Part 1 | | | パート 1 : コンセプト、要件および評価方法 |
| | Part 2 | | | パート 2 : 金融取引に用いるデバイスに対するセキュリティ要件にかかるチェックリスト |

| | | | |
|------------------------------|---|---|--|
| ISO 13492 | ISO 8583-1（金融取引カード用の通信メッセージ）のデータ要素を暗号化する際の鍵管理 | ISO 8583（金融取引カード用の通信メッセージ）のデータ項目のうち「セキュリティ関連制御情報」および「鍵管理情報」に、共通鍵暗号アルゴリズム、DEA：Data Encryption Algorithm や TDEA：Triple Data Encryption Algorithm を適用する際の要求事項を定めた規格。 | |
| ISO/TR 14742 | 暗号アルゴリズムとその使用に関する推奨事項 | TC 68 の金融サービス規格で使用する際の推奨暗号アルゴリズムのリスト、および、その鍵長、関連パラメーターと使用日に関するガイドラインを定めた技術報告書。 | |
| ISO 16609 | 共通鍵暗号を利用したメッセージ認証の要求事項 | 金融サービス関連のメッセージの完全性を保護し、メッセージが許可されたソースから発信されたことを確認するための、送信プロセスとは独立した手順を定めた規格。 メッセージ認証コード（MAC：Message Authentication Code）の計算用の承認されたブロック暗号のリストについても紹介している。 | |
| ISO/TR 19038 | トリプル DEA の利用モードの実装ガイドライン | データの暗号化保護のためのトリプル DEA（DEA：Data Encryption Algorithm）の利用モードの安全で効率的な実装に関する技術サポートと技術詳細に関する技術報告書。 | |
| ISO 19092 | 生体認証におけるセキュリティの枠組み | 金融業務において生体認証を利用する際のセキュリティ確保のための枠組みを定めた規格。 | |
| ISO 20038 | AES：Advanced Encryption Standard を用いた鍵ラップ | 暗号鍵を伝送する際のパッケージ化する方法を定めた規格。 | |

| | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| ISO 21188 | 金融機関のための公開鍵基盤（PKI）にかかる運用および方針の枠組み | 金融業務で公開鍵基盤（PKI：Public Key Infrastructure）を利用する際に必要となる証明書ポリシー（CP：Certificate Policy）、および認証局運用規程（CPS：Certification Practice Statement）の作成方法を定めた規格。 | |
| ISO/TR 21941 | サードパーティの支払サービスプロバイダー（TPPs） | サードパーティの支払サービスプロバイダー（TPPs：Third-party Payment service Providers）とアカウントサービスの支払サービスプロバイダー（ASPSPs：Account Servicing Payment Service Providers）の間のインターフェイスに関する調査結果の技術報告書。 | |

審議中の規格等

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 |
|------------------------------|--|---------|------|
| ISO 9564 | 暗証番号（PIN）のマネジメントとセキュリティ | | |
| Part 1 | パート 1：カード取引における PIN の基本原則および要件 | 既存規格の改正 | |
| Part 5 | パート 5：PIN とその関連データにかかる生成、変更、確認方法 | 新設 | |
| ISO 11568 | 金融のリテール向けサービスの鍵管理 | 既存規格の改正 | |
| ISO/TR 14742 | 暗号アルゴリズムとその使用に関する推奨事項 | 新設 | |
| ISO 16609 | 共通鍵暗号を利用したメッセージ認証の要求事項 | 既存規格の改正 | |
| ISO 19092 | 生体認証におけるセキュリティの枠組み | 既存規格の改正 | |
| ISO 23195 | サードパーティの支払サービスプロバイダー（TPPs）の情報システムにおけるセキュリティ要件 | 新設 | |
| ISO/TS 23526 | デジタル通貨のセキュリティ | 新設 | |
| ISO 24374 | 金融サービスにおける分散型台帳技術（DLT：Distributed Ledger Technology）やブロックチェーンのセキュリティ技術 | 新設 | |

● SC 8（金融サービスにおける参照データ）

[SC 8](#) は、金融サービスにおける参照データ、特に識別子やコードに関する国際標準化を担当する分科委員会である。事務局はスイス規格協会（SNV : Swiss Association for Standardization）が務めている。

発行済み規格等

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 |
|--------------------------|--|--|--|
| ISO 4217 | 通貨コード | 貿易取引や銀行業務において使用される通貨の表示方法を定めた規格。英文字 3 桁と数字 3 桁の 2 種類のコード体系がある。例えば、米ドルであれば、USD および 840、日本円であれば JPY および 392 となっている。 | 2015年6月30日公表「ISO 4217」 |
| ISO 6166 | 国際証券コード（ISIN : International Securities Identification Numbering System） | 有価証券を特定する 12 桁のコードを定めた規格。 最初の 2 桁がアルファベットで国名を表し（日本は JP）、次の 9 桁が証券コード、最後の 1 桁がコンピュータ処理用のコードである「チェックディジット」となっている。 | |
| ISO 9019 | 証券における証書の番号付け | 発行者や発行国に関係なく、すべてのタイプの証券に適用される証券証書の番号付けに関するルールを定めた規格。 | |
| ISO 9362 | 金融機関識別コード（BIC : Business Identifier Code） | SWIFT で利用される、国際的に金融機関を唯一に識別するコードを定めた規格。 SWIFT コードと呼ばれることもある。コードは 8 文字か 11 文字で構成されており、最初の 4 桁が金融機関コード、次の 2 桁が国名、次の 2 桁が所在地のコードで最後の 3 文字は支店コード（任意付与）。 | 2015年6月30日公表「ISO 9362」 |

| | | | |
|------------------------------|--|---|---|
| ISO 10383 | 市場識別コード (MIC : Codes for exchanges and Market Identification) | 各国の証券市場 (証券取引所) を特定するための 4 文字の英数字コードを定めた規格。 | |
| ISO 10962 | 金融商品分類コード (CFI : Classification of Financial Instruments code) | 「株式か債券か」、「議決権が有るか、無いか」など証券の属性を示すための 6 桁のコードを定めた規格。 | |
| ISO 13616 | 国際銀行口座番号 (IBAN : International Bank Account Number) | 国際銀行口座番号を定めた規格。 銀行の所在国、支店、口座番号を特定する最大 34 桁の番号。主に欧州や中東諸国で利用されている。 | |
| Part 1 | パート 1 : IBAN の構造 | | |
| Part 2 | パート 2 : IBAN 登録局の役割と責任 | | |
| ISO 17442 | 取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) | 金融取引に参加する取引主体 (法人・ファンド) を明確かつ一意に識別する 20 桁のコードを定めた規格。 | 2015年6月30日公表「ISO 17442」 |
| ISO 18774 | 金融商品短縮名称・略称コード (FISN : Financial Instrument Short Name) | 金融商品の発行者の短縮名と商品の略称からなる最大 35 桁の英数字のコードを定めた規格。 | |
| ISO 20275 | 法人形態コード (ELF : Entity Legal Forms) | 法人形態を示す 4 桁の英数字のコードを定めた規格。 | |
| ISO/TR 21797 | 金融商品の識別の概要 | 現在利用されている金融商品の識別子 (ティッカー・シンボル等) の概要を示した技術報告書。 | |

審議中の規格等

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 |
|--------------------------|---|---------|------|
| ISO 4914 | 固有商品識別子 (UPI : Unique Product Identifier) | 新設 | |
| ISO 5009 | 組織や法人を代表する個人の公的役割 (OCR : Official Organizational Roles) | 新設 | |
| ISO 6166 | 国際証券コード (ISIN : International Securities Identification Numbering System) | 既存規格の改正 | |

| | | | |
|---------------------------|--|---|--|
| ISO 10962 | 金融商品分類コード (CFI : Classification of Financial Instruments code) | 既存規格の改正 | |
| ISO 13616 | 国際銀行口座番号 (IBAN : International Bank Account Number) | 既存規格の改正 | |
| Part 1 | パート 1 : IBAN の構造 | | |
| Part 2 | パート 2 : IBAN 登録局の役割と責任 | | |
| ISO 17442 | 取引主体識別子 (LEI : (Legal Entity Identifier)) | | |
| Part 1 | パート 1 : 割当 | 既存規格の改正 | |
| Part 2 | パート 2 : デジタル証明書への適用 | 新設 LEI のデジタル空間での活用に向けた拡張規格。 | |
| ISO 21586 | BPoS (Banking Products or Services) の記述仕様 | 新設 金融機関の商品やサービスを説明するために必要な項目を定める規格案。 | |
| ISO 23897 | 固有取引識別子 (UTI : Unique Transaction Identifier) | 新設 OTC デリバティブの取引を一意に特定するための識別子を定める規格案。 | |
| ISO 24165 | デジタルトークン識別子 (DTI : (Digital Token Identifier)) | トークン (暗号資産やセキュリティトークンなど) に付す識別子を定める規格案。 | |
| Part 1 | パート 1 : 登録および割当方法 | 新設 | |
| Part 2 | パート 2 : 登録時のデータ要素 | 新設 | |
| ISO 24366 | 自然人識別子 (NPI : Natural Persons Identifier) | 新設 自然人を一意に特定するための識別子を定める規格案。 | |

- SC 9（金融サービスにおける情報交換）

[SC 9](#) は、金融サービスに関連するメッセージフォーマットなど情報交換の際の仕様に関する国際標準化を担当する分科委員会である。事務局はフランス規格協会（AFNOR : Association française de normalisation）が務めている。

発行済み規格等

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 |
|--------------------------|--|---|---|
| ISO 1004 | 磁気インク文字認識（MICR : Magnetic Ink Character Recognition） | 手形・小切手等で利用される磁気インク文字認識（MICR : Magnetic Ink Character Recognition）の各種仕様を定めた規格。英数字を印刷した場合の特徴的な不良などの考慮事項を含む。 | |
| | Part 1 | パート 1 : E13B の特徴 | MICR の主要フォントである E-13B の特徴を定めた規格。 |
| | Part 2 | パート 2 : CMC-7 の特徴 | MICR の主要フォントである CMC-7 の特徴を定めた規格。 |
| ISO 8532 | 証券番号の伝送のためのフォーマット | 電子メディアで証券番号を他の組織や企業に送信する際のフォーマットに関する規格。 | |
| ISO 8583 | 金融取引カード用の通信メッセージ | カードによる取引において、加盟店端末とカード発行機関等の中で交換される通信メッセージに関する規格。 | |
| | Part 1 | | パート 1 : 電文、データ要素、コードの値 |
| | Part 2 | | パート 2 : 機関識別コード（IIC : Institution Identification Codes）の適用及び登録の手順 |
| Part 3 | パート 3 : 電文、データ要素、コードの値の維持管理方法 | | |
| ISO 9144 | 光学文字認識（OCR : Optical Character Recognition）が可能な文字列の位置と構造 | 有価証券上に OCR 装置で読取り可能な文字列を印刷するため、印刷領域の場所とサイズ、その文字列の位置、その文字列の構造と内容を定義した規格。 | |

| | | | |
|-----------------------------|--|--|--|
| ISO 11649 | 送金情報へ付される構造化された債権者照会 (creditor reference) | 電子データ交換 (EDI : Electronic Data Interchange) を通じて金融機関・顧客間で債権者照会 (creditor reference) という番号を交換することにより、データ処理の STP (Straight Through Processing) 化を図る目的で開発された規格。 | |
| ISO 12812 | モバイル金融サービス | モバイル金融サービスにかかるセキュリティ技術や取引方法を定めた規格。 | |
| Part 1 (IS) | パート 1 (国際標準) : 一般的フレームワーク | モバイル金融サービスの概要。 | |
| Part 2 (TS) | パート 2 (技術仕様) : セキュリティおよびデータ保護 | モバイル金融サービスのセキュリティ管理 (認証・暗号化プロトコル・デジタル署名等) のフレームワーク。 | |
| Part 3 (TS) | パート 3 (技術仕様) : 金融アプリのライフサイクル管理 | モバイル金融サービスで使用されるアプリケーションの相互運用可能なライフサイクル管理。 | |
| Part 4 (TS) | パート 4 (技術仕様) : 個人向けモバイル決済 | 相互運用可能な個人向けモバイル決済の実装にかかる総合的要件と推奨事項、および特定のユースケース。 | |
| Part 5 (TS) | パート 5 (技術仕様) : ビジネス向けモバイル決済 | 消費者等個人がモバイル機器を使用して、支払い業者等のビジネス・エンティティへ支払を行うメカニズムに関する規格。 | |
| ISO 15022 | メッセージスキーム (データフィールドの辞書) | | |
| Part 1 | パート 1 : データフィールドとメッセージデザインルールおよびガイドライン | 証券メッセージについて、データフィールド、その定義などの作成ルールを定めた規格。 | |
| Part 2 | パート 2 : データフィールドの辞書およびメッセージカタログの維持管理 | | |
| ISO 18245 | 加盟店カテゴリコード (MCC : (Merchant Category Codes)) | カード会社等金融機関が加盟店の業種を分類するために用いるコードを定めた規格。 | |

| | | | |
|------------------------------|--|---|--|
| ISO 20022 | 統合的な金融業務に関する通信メッセージ規格 | 金融取引で利用される通信メッセージに関する規格。 | 2015年3月26日公表「ISO 20022の概要」 |
| Part 1 | パート1：メタモデル | | |
| Part 2 | パート2：UML プロファイル | | |
| Part 3 | パート3：モデリング | | |
| Part 4 | パート4：XML スキーマ生成 | | |
| Part 5 | パート5：リバースエンジニアリング | | |
| Part 6 | パート6：メッセージ伝送特性 | | |
| Part 7 | パート7：登録 | | |
| Part 8 | パート8：ASN.1 生成 | | |
| ISO 22307 | プライバシー影響調査（PIA：Privacy Impact Assessment） | 個人情報の収集を伴うシステムの導入・改修の際にプライバシー問題の回避あるいは低減を目的としてプライバシーリスクを事前に評価するリスク管理手法を定めた規格。 | |
| ISO/TS 23029 | 金融サービスにおける WAPI（Web-service-based Application Programming Interface） | 金融サービスにおいてウェブ上でサービス提供する場合の API 仕様を定めた技術仕様書。 | |

審議中の規格等

| 規格番号 | 名称 | 概要 | 参考資料 |
|---------------------------|--|---------|------|
| ISO 8583 | 金融取引カード用の通信メッセージ | 既存規格の改正 | |
| ISO 18245 | 加盟店カテゴリーコード（MCC：Merchant Category Codes） | 既存規格の改正 | |

以上